

けやき台小と若葉小を統合 新しい校名は「若葉台小学校」に決定

けやき台小と若葉小を統合し、平成30年4月に開校する新しい学校の校名が「若葉台小学校」に決まりました。若葉台小は、平成30年4月～平成33年3月は若葉小の校舎を暫定的に使用します。この間にけやき台小の校舎等を解体して新校舎を建設し、平成33年4月に新校舎に移転します。市は統合に向けて、両校の交流活動や通学路の安全確保などを進めています。

「若葉台小学校」主な選定理由

新しい学校の校名は、児童や市民の皆さん、97人から公募で寄せられた144件の中から、学校、PTA、地域団体等で構成される「新学校設立検討委員会」の意見を参考にして教育委員会で選定しました。なお、新しい学校の校歌と校章は、平成30年4月の開校以降に決定します。

園学務課学務保健係・内線2515

新校舎の設計を進めています

新校舎は、「新校舎建設マスタープラン」で示された理念「共に学び共に育つ学校づくり」に基づいて設計を進めています。「新校舎建設マスタープラン」の策定にあたっては、学識者や両校のPTA会長、地域団体等が推薦する方、公募市民、両校の校長・副校長、九中の校長などで構成する「新校舎建設マスタープラン検討委員会」で検討を行いました。今後、平成30年度までに設計を完了し、平成33年3月の新校舎完成を目指して建設工事を実施する予定です。

園教育総務課・内線2474

1 北側歩道を拡幅

校舎を後退させ、安全・安心な登下校空間を整備します



2 オープンスペース

学年集会や発表などで活用できます



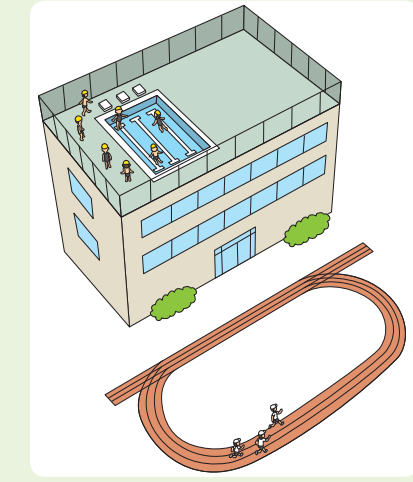
3 ビオトープ

さまざまな生き物とふれあうことができます



4 広い校庭と屋上プール

校舎を4階建てにし、プールを建物の屋上に設置することで、広い校庭を実現します



(イラストはイメージです)

- 1 両校の校名を生かすことで、両校の児童、教職員、保護者、地域の方々が力を合わせて新たな学校づくりに取り組もうという思いが表れている
- 2 「若葉」のように未来に向かって子どもたちが成長していくことへの願いが伝わる
- 3 統合する両校が同じ若葉町内にあることや、段丘の上にあるという地域の特性が表れている

仮設校舎を建設します

平成30年4月の若葉台小開校に向け、若葉小に仮設校舎を建設する準備を進めています。仮設校舎は平成29年11月～平成30年2月の工期で建設する予定です。仮設校舎の具体的な配置等に関する説明会は10月に開催します。

平成30年3月には、けやき台小の必要な備品等を若葉小に移設するほか、現在のけやき台小に隣接しているけやき台学童保育所も若葉小に建設する仮設校舎に移転します。

園教育総務課・内線2474

統合に向けた両校の交流活動等を行っています

けやき台小と若葉小では、統合後の学校生活が円滑に始められるよう、九中を含めた3校の子どもたちの交流を積極的に進めています。

両校で地域に対する理解を深める学習を行い、その成果を発表しあったり、九中で取り組んでいる農園活動に両校の児童が参加したりするなどの取り組みを行っています。また、教職員や保護者、地域の方にも参加していただいた「九中校区あいさつ運動」、教員の合同授業研究、小・中学校の教員が協力した外国語授業なども実施しています。

園指導課指導係・内線2498

通学路の安全対策を検討しています

学校、PTA、警察、関係団体、市関係部署で構成される「通学路安全対策検討委員会」では、統合に伴う通学路の安全対策について具体的に検討を進めています。くわしくは10月に説明会を開催します。

- 1 五日市街道の横断箇所 五日市街道の横断箇所は、「けやき台団地北」「立川九中入口」「若葉町団地入口」の3つの交差点とします。
- 2 五日市街道横断箇所周辺への協力依頼 事業所や店舗に児童横断時の安全対策についてご協力をお願いしています。
- 3 標識設置や路面舗装 「通学路」「歩行者優先」などの標識等の設置や、薄くなった道路舗装の再塗装などを、道路管理者(市道路課、東京都)、交通管理者(立川警察署)とともに進めています。
- 4 通学誘導員の配置 児童の登下校を見守る通学誘導員(仮称)を、五日市街道を中心に配置します。

園学務課学務保健係・内線2515

立川警察署管内で重大交通事故が増加しています。車を運転する際は歩行者への配慮をお願いします。歩行者の皆さんも安全確認をしながら道路を横断しましょう(立川警察署)